

政策シート (政策名) 生涯学習を享受できる機会の充実

(予算費目名) 生涯学習費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
 - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

◇政策の概要

- 市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことができる学習環境づくりのため、生涯学習機会の提供を行っていきます。
- 各地域で、市民の学習成果を発揮する機会を提供していきます。
- 生涯学習施設を拠点として、市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを進めていきます。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	988,687	856,501
決算	928,493	
人件費(A)	65,800	65,800
報酬(B)	169	184
年間経費(予算又は決算+A+B)	994,462	922,485

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
学習成果活用事業における講座数(講座)	講座	100	目標	50	70
			実績	80	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- 市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことができる学習環境づくりのため、生涯学習機会の提供を行っていきます。
- 各地域で、市民の学習成果を発揮する機会を提供していきます。
- 生涯学習施設を拠点として、市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを進めていきます。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

「『楽しみ』や『生きがい』が見つかるまち・浜松」を目指して、「いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくり」や「学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり」に取り組みました。特に、学習成果活用事業では、市民が課題解決に向かって主体的に学習活動に取り組む場や、日常生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元する機会を提供することにより、市民協働への転換を進めるとともに、学びの成果を自立的・持続的に生かす仕組みの構築を図ることができました。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	生涯学習計画推進事業					14,151	1,367	1.8				184
2	生涯学習機会提供事業	○	○	○		76,673	73,873	0.4				
3	成人式開催事業					17,765	14,265	0.5				
4	生涯学習施設運営事業	○	○	○		742,527	720,407	2.8			0.9	
5	生涯学習運営事業					12,910	10,110	0.4				
6	学習等供用施設整備事業					32,875	31,475	0.2				
7	社会教育振興基金積立金					1,700	1,000	0.1				
8	生涯学習運営経費(一般諸経費のみ)					23,884	4,004	2.8			0.1	
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						922,485	856,501	9.0			1.0	184

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 生涯学習計画推進事業

◇事業目的・事業対象

浜松市生涯学習推進大綱の推進状況の管理や生涯学習推進の方向性並びに取組内容等に対する協議を行うため、委員による会議を行い、生涯学習・社会教育の推進を図ります。

◇事業の概要

○社会教育委員会運営事業

- ・社会教育委員による社会教育委員会を開催(年間4回程度)し、浜松市生涯学習推進大綱の推進状況の管理や生涯学習推進の方向性並びに取組内容等に対する協議を行います。
- ・関東ブロックで開催される社会教育研究大会や政令指定都市で開催される社会教育関係会議に参加し、情報交換や資質の向上を図ります。
- ・社会教育委員会で提案された「学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり」のための人材育成の取組として、「地域づくり」及び「地域課題の解決」に関するテーマに特化した人材養成講座を実施し、生涯学習による地域づくりを進めることのできる地域リーダーを養成していきます。
- ・大学との連携により、大学生による講座を実施し、学習成果を発揮する機会の充実を図るとともに地域課題の解決に向けた学習を進めていきます。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	—	一般会計	自治事務	社会教育法・浜松市社会教育委員条例	—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,153	1,367
	決算	799	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	799	1,367
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)		169	184
人件費(千円)		15,400	12,600
人工	正規	2.2	1.8
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
大学との連携事業による講座数(講座)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	8	12			17
実績値	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○社会教育委員会運営事業

- ・社会教育委員による社会教育委員会を開催(年間4回程度)し、浜松市生涯学習推進大綱の推進状況の管理や生涯学習推進の方向性並びに取組内容等に対する協議を行います。
- ・関東ブロックで開催される社会教育研究大会や政令指定都市で開催される社会教育関係会議に参加し、情報交換や資質の向上を図ります。
- ・社会教育委員会で提案された「学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり」のための人材育成の取組として、「地域づくり」及び「地域課題の解決」に関するテーマに特化した人材養成講座を実施し、生涯学習による地域づくりを進めることのできる地域リーダーを養成していきます。
- ・大学との連携により、大学生による講座を実施し、学習成果を発揮する機会の充実を図るとともに地域課題の解決に向けた学習を進めていきます。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・社会教育委員会を4回開催し、テーマに沿った協議や「浜松市生涯学習推進大綱」の進捗状況の管理等において、具体的な事業内容や今後の方向性について審議をしていただきました。
- ・「高まれ！市民力～地域づくり人材養成講座」を積志協働センターにて実施しました。19人が修了し、生涯学習による地域づくりの推進役としての資質を向上することができました。また、講座と関連付けて「地域づくり人材養成講演会」を開催しました。地域づくりや生涯学習に関心のある方48人が参加し、地域づくり活動への意識啓発を図ることができました。
- ・「市と大学との連携事業～大学生による講座」は、浜松学院大学、静岡文化芸術大学と連携・協力し、10講座を開催しました。大学の専門分野を生かした講座内容で、新たな地域ニーズの発見とともに、これまでの協働センター講座にはない取組ができました。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

人材養成講座については、開催方法・講座内容等を検討し、年1期として取り上げるテーマ数(コマ数)を増やし、内容の充実を図りました。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

生涯学習に関する諸計画について、社会教育委員に諮っていくことは、社会教育法に基づいたものであり、今後も生涯学習政策の推進にあたり、現状どおり継続していくことが重要です。「高まれ！市民力～地域づくり人材養成事業」は、講座に先駆けて講演会を開催することにより、地域づくり活動や生涯学習への意欲高揚、意識啓発を一層図っていきたいと思います。大学連携事業については、連携先となる新たな大学へのアプローチをし、事業の充実に努めます。また、連携の在り方や仕組みについて見直し、大学と市がよりよい協力関係の下で、事業推進していくことができるようにしていきたいと思います。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 生涯学習機会提供事業

◇事業目的・事業対象

市民がいつでも自由に学びふれあうことが出来る機会を提供することにより、豊かな人間性を育みます。

◇事業の概要

○講座等開催事業

- 市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことが出来る学習環境づくりを行います。
- 市民の学習成果を発揮する機会や場づくり、市民への生涯学習の普及と啓発、生涯学習施設で活動する団体の育成・交流を図るため、各地域で成果発表の機会を提供していきます。

【重点戦略項目No.112】

○学習成果活用事業

- 生涯学習施設を拠点として、市民が日常生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを、社会に還元する機会を提供します。
- 市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを進めていきます。

【重点戦略項目No.34】

○子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業(負担金)

- 将来の地域産業を担う人材を育成するため、産学官連携による、優れた子どもの才能を伸ばす特別課外講座を実施します。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H3	—	一般会計	自治事務		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	60,839	73,873
	決算	52,912	
	国・県支出		
	市債		
	その他	98	56,514
	一般財源	52,814	17,359
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		3,500	2,800
人工	正規	0.5	0.4
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
学習成果活用事業における講座数(講座)				—	112
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	50	70	100		100
実績値	80				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
ダビンチキッズ・ITキッズプロジェクトの再編				—	34
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	庁内体制の再編	課題整理	効果的な体制構築		
実績値	庁内体制の再編				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
全国レベルのコンテスト入賞者数(累計)				Ⅱ-2(1)ア	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	5	7		15	20
実績値	6				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○講座等開催事業
 ・市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことが出来る学習環境づくりを行います。
 ・各種の講座、教室、講演会等を開催します。
 ・市民アカデミー、ユネスコ科学教室など、生涯学習機会の提供を行っていきます。
 ・市民の学習成果を発揮する機会や場づくり、市民への生涯学習の普及と啓発、生涯学習施設で活動する団体の育成・交流を図るため、各地域で成果発表の機会を提供していきます。
 【重点戦略項目No.112】
 ○学習成果活用事業
 ・生涯学習施設を拠点として、市民が日常生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを、社会に還元する機会を提供します。
 ・市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを進めていきます。

・事業の成果と課題

指標の達成度

 「『楽しみ』や『生きがい』が見つかるまち・浜松」を目指して、「いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくり」や「学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり」に取り組みました。特に、学習成果活用事業では、市民が課題解決に向かって主体的に学習活動に取り組む場や、日常生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元する機会を提供することにより、市民協働への転換を進めるとともに、学びの成果を自立的・持続的に生かす仕組みの構築を図ることができました。

・事業の改善と見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・学習成果活用事業では、全市域において事業展開をした結果、ほとんどの生涯学習施設において採用事業の応募が複数ありました。また、前年度に実施した団体が生涯学習施設の講師を行ったり、事業に協力したりする事例がみられました。
 ・生涯学習を推進するための人材づくりに取り組み、生涯学習施設で活動する団体の育成・交流を図るため、各地域で成果発表の機会を充実させることができました。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 ・学習成果活用事業では、実施対象施設を全市域の49施設を維持するとともに、新規事業者の開拓に取り組んでいきます。
 ・市民の生涯学習へのニーズが高まり、多様化するなか、それらに対応した学習情報や学習機会を提供していきます。また、市民がいつでも、どこでも、だれでも学ぶことができる環境づくりと、市民主導による生涯学習を推進する人材づくりがより効果的に推進されるよう、形態や内容の精査・検討に取り組んでいきます。

・事業の分類

大分類 細分類

補助シート (事業名) 生涯学習機会提供事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
112	H26までの「学習成果活用支援事業」までの「学習成果活用事業」とし、行政主導から市民主導への事業の展開を図る。	学びの成果を自立的・持続的に生かす仕組みの構築を図る。 ①事業実施者募集 ②相談・申込み受理 ③委託契約 ④事業実施 ⑤助言・支援・指導 ⑥事後処理の支援		
34	庁内体制の再編	課題整理	検討	効果的な体制構築

事業シート (事業名) 成人式開催事業

◇事業目的・事業対象

新成人を祝い「成人の日」を記念し、成人としての自覚と責任を促すことを目的とした成人式を開催することで、地域においては、青少年健全育成の機運を盛り上げ、新成人においては、郷土愛と感謝の念を醸成します。

◇事業の概要

- ・浜松市と地区自治会連合会をはじめとする地域団体や新成人が「地区成人式実行委員会」を組織し、成人式の企画・運営を行い、市内40地区に分散して実施します。
- ・浜松市は地区成人式実行委員会に負担金を拠出します。
- ・浜松市全体で、新成人の晴れの門出を祝い励ます機運を盛り上げ、すべての新成人が成人式に参加しやすい環境作りをします。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	自治事務		—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	14,140	14,265
	決算	14,139	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
一般財源		14,139	14,265
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		2,800	3,500
人工	正規	0.4	0.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標 (H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
成人式参加率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	79	79			80
実績値	77				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
06 01 03 01 00630000

(担当課)
生涯学習課

(責任者)
鈴木 正仁

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・地元自治会の有志や、新成人からなる「地区成人式実行委員会」を立ち上げ、成人式を企画・運営し、協働センター等が事務局となり、市内40地区に分散して実施します。
・浜松市全体で、新成人の晴れの門出を祝い励ます機運を盛り上げ、すべての新成人が成人式に参加しやすい環境作りをします。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

市内40地区で成人式を開催し、対象者7,508人に対して、5,813人の新成人が参加しました。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

各地区成人式実行委員会への委託により、市内40地区で成人式を開催しました。また、市内の街中飲食店にも協力をいただき、新成人限定特典を用意して、浜松市全体で、新成人の晴れの門出を祝い励ます機運を盛り上げました。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 事業費 現状 人工 現状

平成28年度から浜松市と地域の住民が協働して成人式を開催するという位置付けを明確にするため、昨年度までの委託方式から負担金方式としました。将来的には、地区成人式実行委員会を組織する団体を地元の民間企業等にも広げていきたいと考えます。

・事業の分類

大分類 補助・助成

細分類 負担金・拠出金

事業シート (事業名) 生涯学習施設運営事業

◇事業目的・事業対象

生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行います。また、浜松科学館について、科学の原理・原則に基づいた展示品と講座で、科学技術に関心を持たせ、観察や実験を通して科学的な考え方を養い「科学する心」の育成を目的とします。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.111】

○科学館運営事業

- ・常設展、特別展、プラネタリウムの管理運営を行います。
- ・子ども事業、企業・大学等との共催事業、学校地域連携事業、相談事業等を開催します。
- ・ホール、講座室の貸し館業務、科学学習情報システム(ヘイムズ)Ⅳの保守管理を行います。
- ・浜松科学館のリニューアルを行い、展示物の更新、建物の修繕・UD対応等に取り組みます。

- クリエート浜松運営事業、浜北文化センター運営事業、なゆた・浜北運営事業、万葉の森公園運営事業、天竜壬生ホール運営事業、雄踏文化センター運営事業、みをつくし文化センター運営事業、引佐多目的研修センター運営事業、三ヶ日文化ホール運営事業、春野文化センター運営事業、佐久間歴史と民話の郷会館運営事業、水窪文化会館運営事業、龍山森林文化会館運営事業、生涯学習施設整備事業
- ・各施設の設置目的を達成するために、管理運営及び施設整備を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S36	—	一般会計	自治事務	浜松科学館条例他	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	856,380	720,407
	決算	815,862	
	国・県支出		
	市債		
	その他	65,603	105,321
	一般財源	750,259	615,086
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		9,800	22,120
人工	正規	1.0	2.8
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	1.0	0.9

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
既存展示物の更新数(累計)(件)				—	111
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	3	5	80		80
実績値	4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
浜松科学館の来館者数(人)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	210,000	215,000			260,000
実績値	240,569				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合(%)				Ⅱ-2(1)イ	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	30.7	31.5		33	35
実績値	30.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.111】

○科学館運営事業

- ・常設展、特別展、プラネタリウムの管理運営を行います。
 - ・子ども事業、企業・大学等との共催事業、学校地域連携事業、相談事業等を開催します。
 - ・ホール、講座室の貸し館業務、科学学習情報システム(ヘイムズ)Ⅳの保守管理を行います。
 - ・浜松科学館のリニューアルを行い、展示物の更新、建物の修繕・UD対応等に取り組みます。
- クリエート浜松運営事業、浜北文化センター運営事業、なゆた・浜北運営事業、万葉の森公園運営事業、内山真龍資料館運営事業、天竜壬生ホール運営事業、雄踏文化センター運営事業、みをつくし文化センター運営事業、引佐多目的研修センター運営事業、三ヶ日文化ホール運営事業、春野文化センター運営事業、佐久間歴史と民話の郷会館運営事業、水窪文化会館運営事業、龍山森林文化会館運営事業、生涯学習施設整備事業
- ・各施設の設置目的を達成するために、管理運営及び施設整備を行います。

・事業の成果と課題

指標の達成度

平成27年4月6日に、浜西市出身でノーベル物理学賞を受賞した天野浩名古屋大学教授の、浜松科学館名誉館長委嘱式を執り行いました。

天野名誉館長が受賞されたノーベル物理学賞の公式レプリカメダルを、4月28日(火)から5月12日(火)、7月1日(水)から7月5日(日)、8月8日(土)から8月17日(月)の3回、浜松科学館エントランスに展示し、無料にて入館者に見ていただきました。

平成28年1月4日には、青色発光ダイオード(LED)開発における天野名誉館長の研究業績やLEDの原理、LEDをはじめとした光分野の技術革新などについて広く紹介するため、浜松科学館2階・光のコーナー内に天野名誉館長の顕彰展示「ようこそ！LEDの世界へ」を新設し、オープニングセレモニーには天野名誉館長にテープカットをしていただきました。

これらの事業により入館者数が増加し、常設展示・プラネタリウム入館者数134,007人、特別展入場者数53,108人、講座・事業参加者数41,128人、ホール・講座室利用者数12,326人で、合計240,569人の利用がありました。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

特別展「トリックアートとふしぎな視覚展」では、53,108人という近年にない入館者数を記録しました。

地域の企業や大学等との共催事業「おや！なぜ？横丁～サイエンスアベニュー～」では、2日間で16,382人の入館者がありました。

展示リニューアルに係る基本構想作成のため、リニューアル検討委員会を年間5回開催しました。

ヘイムズの保守や建物の修繕なども、滞りなく実施することができました。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

講座や講演等のソフト面においては、科学教育の拠点施設として子どもから大人までを対象とし、「科学する心」の育成を目指した運営を図っていきます。また、5月に迎える開館30周年とタイアップした事業に取り組みます。

ハード面においては、科学教育の拠点施設としてより魅力的な施設となるよう、展示リニューアルを推進していきます。

・事業の分類

大分類 細分類

補助シート (事業名) 生涯学習施設運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
111	・リニューアル検討会 (基本構想の策定)	・サウンディング ・展示計画・設計・製作 に係る要求水準書の作成	・展示計画・設計・製作 に係る要求水準書の作成 ・展示計画・設計・製作	・展示計画・設計・製作 ・建物設備の修繕、UD 対応等

事業シート (事業名) 生涯学習運営事業

◇事業目的・事業対象

他都市や外郭団体との連携・情報交換を推進し、生涯学習事業の推進を達成します。また、休館中の教育文化会館の管理を行います。

◇事業の概要

○生涯学習運営・調整事業

・協働センター等職員の研修や静岡県公民館連絡協議会への加盟により、各市町の生涯学習施設との連携及び事業推進を図っていきます。

○教育文化会館事業

・休館中の教育文化会館の管理を行います。

・教育文化会館の休館に伴い、アクティビティ浜松のホールを利用する学校教育団体に対して、利用料金の負担軽減を実施するため、指定管理者減収分に対して補填を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S29	—	一般会計	自治事務	社会教育法	—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	10,121	10,110
	決算	5,940	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	5,940	10,110
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		15,400	2,800
人工	正規	2.2	0.4
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標 (H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
職員の研修参加人数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	70	70			70
実績値	92				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○生涯学習運営・調整事業
 ・協働センター等職員の研修や静岡県公民館連絡協議会への加盟により、各市町の生涯学習施設との連携及び事業推進を図っていきます。

○教育文化会館検証事業
 ・教育文化会館のあり方について、廃止、建替え、新設を含めて議論する検証検討会を設置します。
 ・教育文化会館の休館に伴い、アクティビティ浜松のホールを利用する学校教育団体に対して、利用料金の負担軽減を実施するため、指定管理者減収分に対して補填を行います。

・事業の成果と課題

指標の達成度

協働センター等生涯学習施設の所管課職員を対象とした「生涯学習推進研修会」を開催し、52人が参加しました。市民主導の生涯学習活動や生涯学習によるまちづくりの人材育成に対する生涯学習施設のかかわり方などについて、関係職員の意識啓発を図ることができました。

・事業の改善と見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

生涯学習関係職員を対象に、特に地域の生涯学習や地域づくりを推進するための人材育成をテーマとして、研修会を企画しました。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

研修会は、今後の生涯学習の方向性についての理解をさらに深めるための実践例や具体例を多く取り上げ、研修内容の充実に努めます。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 学習等供用施設整備事業

◇事業目的・事業対象

航空自衛隊浜松基地飛行場周辺で、飛行訓練の騒音により生活環境に著しい障害を受けている地域において、学習等供用施設を整備し、地域の人々の身近な学習・コミュニティ活動に貢献します。

◇事業の概要

地元自治会からの要望を受け、学習等供用施設の設備修繕を進めていきます。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S41	—	一般会計	自治事務	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律等	—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	35,806	31,475
	決算	32,415	
	国・県支出		
	市債		
	その他	16,207	15,737
	一般財源	16,208	15,738
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	1,400
人工	正規	0.1	0.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標 (H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
利用者数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	270,000	271,000			280,000
実績値	259,567				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
06 01 03 01 00630000

(担当課)
生涯学習課

(責任者)
鈴木 正仁

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

地元自治会からの要望を受け、学習等供用施設の設備修繕を進めていきます。

・事業の成果と課題

指標の達成度

平成27年度は延べ259,567人の地域住民の利用がありましたが、前年と比較して1万人程度の減少になりました。地域住民の少子高齢化が課題となっています。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成27年度は、幸町会館、神ヶ谷会館、大久保会館、村楡会館、三方原会館の5会館の設備修繕工事を実施しました。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も地元自治会からの要望を受け、学習等供用施設の設備修繕を進めていきます。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 社会教育振興基金積立金

◇事業目的・事業対象

社会教育の振興を図るために設置する社会教育振興基金の管理を行います。

◇事業の概要

・寄付があった場合は、社会教育振興基金への積立を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S50	—	一般会計	自治事務	浜松市社会教育振興基金に関する条例	—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,000	1,000
	決算		
	国・県支出		
	市債		
	その他		1,000
一般財源			
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	700
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標 (H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・寄付があった場合は、社会教育振興基金への積立を行います。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

平成27年度は寄附実績はありませんでした。

基金の運用利息を生涯学習機会提供事業-講座等開催事業、生涯学習施設運営事業-科学館運営事業に充当しました。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

社会教育の振興のために、当基金の適正な管理と運営に努めていきます。

・事業の分類

大分類 管理・監視

細分類 基金積立

事業シート (事業名) 生涯学習運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	9,248	4,004
	決算	6,426	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	6,426	4,004
	一般会計繰入金		
	人件費(報酬等) (千円)		
	人件費 (千円)	17,500	19,880
人工	正規	2.5	2.8
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		0.1

◇事業の指標 (H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
06 01 03 01 00630000

(担当課)
生涯学習課

(責任者)
鈴木 正仁

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 管理・監視

細分類 運営経費(諸経費のみ)